

平成30年度日本医師会医学研究奨励賞を受賞しました

疫学・予防医学講座 准教授 大林 賢史

【受賞対象研究題目】

「光曝露の健康影響：大規模前向きコホート研究による検証」

本学疫学・予防医学講座の 大林賢史 准教授 が、平成30年11月1日に東京の日本医師会館で開催された日本医師会設立71周年記念式典で医学研究奨励賞を受賞しました。日本医師会医学研究奨励賞は昭和37年に設立され、基礎医学・社会医学・臨床医学を通じ、医学上将来性に富む研究を行っているものに授与される賞で、歴代受賞者には日本を代表する研究者が数多く名を連ねています。本受賞対象研究では、現代社会で急激に増加している夜間の人工光の健康影響を示唆したことの新規性や重要性が高く評価され、受賞に至りました。今後、コホート追跡を継続するとともに、より大規模な調査を行い精度の高い研究結果を公表していきたいと考えています。

